



メイプル

東北

Vol.7



▲ 絢子ちゃんを囲んで笑顔が広がる。

愛を育む、国際ファミリー



現在、仙台育英学園の国際センターでコーディネーターをされているイアン・マクレガーさん（トロント生まれのバンクーバー育ち）とご家族です。イアンさんのご趣味は、海洋生物学を専攻していたこともあって、スキューバ・ダイビング。またサッカーやスキー、スカッシュなども得意で剣道は二段の腕前です。奥さまの祐紀子さんは東京都出身で結婚を期に仙台に来られたそうです。この日は、昨年11月末に生まれたばかりの長女・絢子ちゃん（3ヶ月）のために、カナダから来仙していたイアンさんのお母さまにもご一緒していただきました。お母さまにとって絢子ちゃんは初孫になるそうです。

撮影場所：電力ビルグリーンプラザ内『夢見る子供の童話館』

▼いも煮に舌鼓をうって大満足の1日でした



いも煮会

「日本一のいも煮会フェスティバル」で知られる山形市の馬見ヶ崎川河原で、9月23日に会員親睦いも煮会を開催しました。当日は、あいにくの雨模様の中、会員など23名が参加しました。一行を乗せたバスは一路山形へ。途中大雨に遭い、野外での開催が心配されましたが、市内に入ったところで雨も上がり、無事にいも煮会は始まりました。

参加者はそれぞれ火を焚いたり、材料(里芋・牛肉・ねぎ・こんにゃく・醤油・砂糖・酒orみりん)を入れたり和気あいあいと調理をしていました。なかには初めていも煮会を体験する方もいて、出来たてのいも煮に感嘆の声を上げ、出来具合に満足そうに舌鼓をうっていました。また、自己紹介や参加しての感想などを話しながら、終始和やかな雰囲気の中、秋の味覚を楽しんでいました。



▲参加者の自己紹介も和やかに

▼黒田副会長の挨拶



クリスマスパーティ

昨年の12月9日、仙台市を会場に開催したクリスマスパーティに会員ほか約70名が参加しました。パーティでは、当協会黒田副会長の挨拶に続いて、新しく東北地域の連絡担当官に就任されたカナダ大使館のウェイン・ロブソン書記官から挨拶をいただきました。書記官の日本語のスピーチが終わると、会場は盛大な拍手で包まれ、和やかな開会となりました。

ピアノとオーボエによるミニコンサートでは、クリスマスソングメドレーなどが披露され、参加者はその素晴らしい演奏に聞き入っていました。またこのあと、全員で「赤はなのトナカイ」を合唱したり、恒例となっているプレゼント抽選会が行われ、パーティは一層盛り上がりました。特に今年は、お子さんたちの参加も見られ、より賑やかで楽しいものとなり、最後まで会話も弾んでいたようでした。



▲ウェイン・ロブソンさんのスピーチ



▲恒例のビンゴゲーム

N E W S REPORT

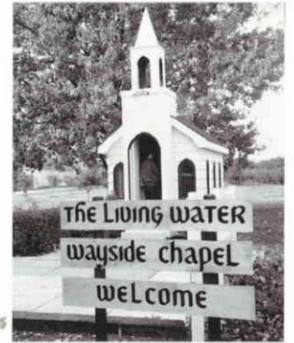
日本とカナダを結ぶ、友情の架け橋

【赤塚事務局長のカナダリポート】



昨年の9月末、米国出張の折に協会の事務局を預かっている立場もあり、one day tourに挑戦して、トロントの周辺を垣間見る機会を得た。

日本の27倍も面積の大きいカナダの一隅に足を踏み入れた僅か一日の旅行であったが、アメリカとは異なる新鮮な雰囲気印象が残った。北国らしく自然をたっぷり満喫できるたまたまに瀟洒な民家がゆったりと、しかも整然と並



▲世界一小さな教会(ウェイサイド教会)

んでいるところが、人間と自然とのきれいなハーモニーを見せており、米国都会をわたり歩いただけに、旅の安らぎを感じさせるに充分のものがあつた。

スカイロンタワーから見下ろし、また「霧の乙女号」に乗船して真上に見上げたナイアガラの雄姿に感動したのも大きな喜びであったが、やはり小さな町の安らぎに旅の幸せを噛み締めたことの方が、大きな収穫であり、心に強く焼きついて離れない。

いずれまた、機会があれば、もっと時間をかけて広いカナダの別の土地を訪れてみたい。



▲カナダらしい自然と調和した街並み

落ち着いた
たまたま



フードフェアで当選 初のカナダ旅行を満喫

'92年秋に開催されたフードフェアでカナダ往復航空券をプレゼントされた平塚さんが、昨年秋にカナダ旅行を実現しました。

平塚佳枝さん(会社員)

初めてのカナダ旅行。広大なゲレンデでスキー三昧。でも結局晩秋のヨーロッパの香り漂う東側ケベック、オタワへ。カナダ建国の頃からの古いお城のような建築物。フランスを思わせるようなたまたま。発展を支えてきたセントローレンス川。そして赤く色づいていたメイプルリーフ。紅葉とすべての景色がマッチしてまるで洋画の世界に入っているようでした。

ガイド付きのツアーでいったので言葉に不自由はなかったのですが、やはりカナダに行くならフランス語(公用語です)。特に東側に行く時は、少しでも言葉を覚えていけばより一層すてきな旅が楽しめると思います。ということで広いカナダを満喫するためには、またチャンスをつかまなければ…。



◀ローレンシャン高原の麓にあるレストランでオーナーと(向かって左端が平塚さん)



▲ナイアガラの滝からナイアガラ・オン・ザ・レークに至るパークウェイにある世界最大級の花時計の前で

カナダ関係の書籍紹介

協会では、この程、カナダ関係の書籍を購入いたしました。今回はその中の二冊をご紹介します。

まず、一冊目の『誕生から死まで』～カナダと日本の生活文化比較～(頸草書房)は、19項目からなり、著者関口礼子さんの滞在経験をふまえ、出生・保育・教育・男女の雇用条件・結婚・離婚事情・人種問題・住宅・年金などについて紹介してあります。特に女性には、なかなか興味深く読み進める一冊です。

二冊目は、『新カナダ語学留学とワーキングホリデー』(三修社)。著者の八木慶男氏がカナダで20年生活しての個人的体験や諸団体の役員としての社会体験、日本からの留学希望者に対するカウンセリング・生活相談などの経験を通し、分かりやすく、即役立つようにまとめたホスト側であるカナダからの直言ガイドです。また、カナダでの生活体験者の体験記も掲載しており、カナダ留学またはカナダでの生活体験を希望する若者にはもちろん、海外に子供を送るご両親にもお勧めの本です。

なお、ご希望の方にはお貸ししておりますので、協会事務局までお越し下さい。



▲カナダをもっとよく知る2冊

カナダ自然紀行

地球が生んだ芸術品 カナディアン・ロッキーの最高峰

マウント・ロブソン



高原のリゾート地・ジャスパーの西80km、標高3954mを誇るマウント・ロブソン。一枚岩のようながっしりとした男性的な雄姿と、残雪の残る優美で女性的な表情をあわせ持つ美しい山です。近くには氷河、湖、滝、川もあり、カナダの自然を満喫できる場所です。



会員紹介

法人会員

1. 氏名
清水建設(株)東北支店
2. 連絡先
〒980 仙台市青葉区木町通1-4-7
TEL. 022-267-9121
3. 職業
建設業
4. カナダ協会へ一言



東京のカナダ大使館再開発プロジェクト('91年3月新大使館完成)を通じて、多くの方々と共に仕事をする機会を得ることができました。

経済や文化に直接触れることができたおかげで、社内でもカナダをより身近に感じている人が増えました。もっと多くの人にカナダを知ってもらい、好きになってもらう為に、組織的に大規模なPRができればと思います。

個人会員

1. 氏名
村山真理子
2. 連絡先
〒981 仙台市青葉区貝ヶ森6-1-27
TEL. 022-279-1289
3. 職業
東北学院大学教養学部教授
(イギリス文学、文学理論等担当)
4. カナダ協会へ一言



▲レイク・ルイーズにて

7年前、B.C.州ビクトリア大学で研究する機会があり、カナダに興味を持つようになりました。現在研究中のイギリスに関するテーマに区切りがついた時に、カナダについて研究を始めようと予備知識を収集しています。

カナダ滞在中、日本語の授業に定員を超える学生が集まり、日本での仕事を期待している様子を知りました。協会が人物交流に貢献されることを願います。

カナダの出版物をすぐに入手できない悩みを感じています。流通上の改善が望まれます。

協会からのお知らせ

前号のREPORTでご紹介いたしました個人会員の尾張さんから『カナダ・キャンピングツアー』のモデルプログラムを協会宛にいただきました。内容は、バンクーバー・アイランドでサーモン・フィッシングなどを体験できるものやカナディアン・ロッキーでアウトドア・スポーツを楽しめるものなど6コースで、旅行期間は、7～8日間です。オリジナルのカナダツアーに興味のある方は、ご連絡を…。

連絡先 (株)キュリオス 尾張浩昭さん
〒151 東京都渋谷区代々木3-31-8-101
TEL.03-3372-9402 FAX.03-5351-1233

1994年3月発行

発行人/東北日本カナダ協会 The Tohoku Canada-Japan Society
〒980 仙台市青葉区一番町三丁目7-1
東北電力(株) 地域開発協力部内 TEL. 022-225-3025(直)
FAX. 022-227-8390